

『ESDをどう前進させるか』



ESDの10年終了後、その成果指針としてグローバル・アクション・プログラム(GAP)が示され3年が経過しようとしています。国連では、昨年SDGsが採択され、2030年までに達成する地球市民の持続可能な未来のための17の課題が示されました。まさにESDの具体的なイメージが提起されました。

また、日本では文部科学省から新しい学習指導要領の原案が示されその前文に「持続可能な社会の創り手となることができるようする」と書き込まれESDの目指す教育が学習指導要領の改訂に強く関わっていることが示されました。

これからは、学校現場でこの内容をどのように具現化していくのか、学校教育に関わっているNPO等がどのようにそれをサポートしていくのかが問われています。

そこで、「オタワ会議」の報告を聞いてGAPに向けての世界の動きを知ると共に、新学習指導要領改訂の意図やその具現化のために何をなすべきかを学び、今後の取り組みの参考にしたいと思います。

2017年6月25日(日)

■15:00-17:00 ESD車座トーク (参加費:無料)

■17:15-19:00 懇親会 (参加費:3,000円)

会場: 日能研ビル6F (東京都荒川区西日暮里:地図裏面)

- **こんなNGO・企業・学校・つなぐ人にお勧めです**

“学校教育×ESD”に関心がある市民活動実践者、教員、企業人、行政職員、コーディネーター、研究者など

- **トークテーマ & ゲスト**

第I部 『オタワの報告』 報告+討論

オタワ会議*で報告された日本のESDの特徴について報告していただきます

報告者: 文部科学省 国際統括官補佐 鈴木規子さん

第II部 『新学習指導要領とESD』 報告+討論

新学習指導要領の特徴と新学習指導要領とESDとの関係について報告していただきます

報告者: 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課

教育調査官 渋谷一典さん

オタワ会議*

平成29年3月にUNESCO Week for Peace and Sustainable Developmentの一環としてカナダのオタワで開催された「GAPレビュー・フォーラム」のことであり、その目的は次のとおりであった。

1) 2014年のESDに関するユネスコ世界会議以降のGAPの進捗の振り返り

2) 今後のGAPに向けての更なる行動の特定と企画

3) ESDの新たな論点とイノベーションについての議論

我が国の対応として、有識者及び文部科学省/日本ユネスコ国内委員会で代表団を構成し、文部科学省、環境省で作成した「ESD実施状況に関するフォローアップ結果から見えるESDの傾向」を参考しつつ対応した。

主 催 : NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)

(お問い合わせ、お申し込みは裏面へ)

車座トーク会場案内

会場：日能研ビル 6F

東京都荒川区西日暮里5-38-5



● 参加申し込み方法

WEBフォームまたは下記参加申し込み内容をメールまたはFAXにご記入の上
お送りくださいますようお願い致します

WEBフォームから 下記URLにアクセスし、フォームにご記入お願いします
URL : <https://goo.gl/ZktJtt>

メールから 件名を「ESD車座トーク申し込み」とし、下記アドレスまでお願いします
jimukyoku@esd-j.org

FAXから 03-5834-2062 まで送付ください

＜参加申し込み＞

1)お名前	2)ふりがな	
3)ご所属		
4)メールアドレス		
5)お電話番号		
6)懇親会への参加についてお知らせ下さい	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加
7)今回の案内をどこでお知りになりましたか		

お申し込み・お問い合わせは・・・

NPO法人 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J)

E-mail : jimukyoku@esd-j.org TEL : 03-5834-2061 FAX:03-5834-2062